



中小企業景況レポート

No.16 中栄信用金庫 地域支援部

平成27年7月～9月実績と平成27年10月～12月見込み

◆調査概要

調査時期 平成27年9月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数 338社
回答企業数 331社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	93	92	98.9
卸売業	23	22	95.6
小売・飲食業	66	65	98.4
サービス業	53	51	96.2
建設業	63	62	98.4
不動産業	40	39	97.5
合 計	338	331	97.9

◆7月～9月期の概況

～景況感は3期連続悪化、停滞感は一段と強まる～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断D.I.は▲11.8を示し、前回調査(平成27年4月～6月期)に比べ3.8ポイントの悪化となりました。これは、依然として続く原材料高騰による仕入コスト上昇分の転嫁遅れや最低賃金の引上げに伴う人件費の上昇が企業収益を圧迫し、さらに消費税増税後の消費マインドの回復遅れに加え、中国経済の景気減速による影響が波及したことで、中小企業の景況感は弱含みで推移していると思われます。しかし一部企業においては、製造関連の設備投資に持ち直しの動きが見受けられます。

先行きについては、プレミアム付商品券等政府の生活支援対策による個人消費の持ち直しなど、景気の押上げ効果に期待はあるものの、食料品などの物価上昇に実質賃金の伸びが追いつかない状況下では、不透明感が強く景気回復に弱さが残ります。

項目別にみると、売上実績D.I.は前回調査比2.1ポイント改善の▲3.1、収益実績D.I.は前回調査比4.1ポイント改善の▲7.5となっております。また、仕入価格D.I.は1.6ポイント上昇感が弱まり22.9、資金繰りは3.4ポイント悪化の▲16.3、人手不足については1.2ポイント不足感が弱まり▲16.9となっております。

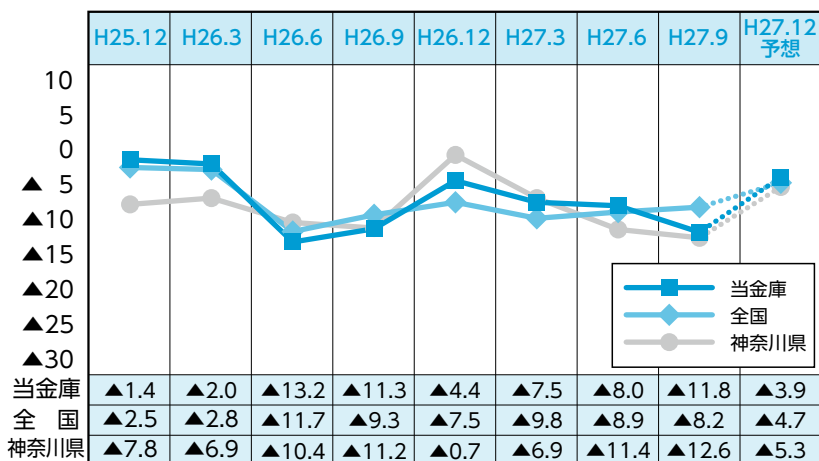
また、業種別の景況感は、卸売業が17.8ポイント改善の9.1、建設業が6.5ポイント改善の4.8、製造業が2.0ポイント悪化の▲4.3、小売・飲食業が7.4ポイント悪化の▲27.7、サービス業が13.7ポイント悪化の▲25.5、不動産業が18.1ポイント悪化の▲23.1となっております。(業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。)

なお、全国の中小企業業況判断D.I.は、前回調査から0.7ポイント改善の▲8.2、神奈川県内は、1.2ポイント悪化の▲12.6となっております。(全国と神奈川県のD.I.値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。)

◆10月～12月期の見通し

来期の業況判断予想は7.9ポイント改善の▲3.9、売上額D.I.は11ポイント改善の7.9、収益D.I.は7.5ポイント改善の0.0の予想となり、業種別では、卸売業以外の5業種で改善の見込みとなっております。

業況判断D.I.値(全業種)



全国、神奈川県の業況判断D.I.値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000(うち神奈川県約480)の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I.値とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 良 ← → 低調 悪い

製造業

概況

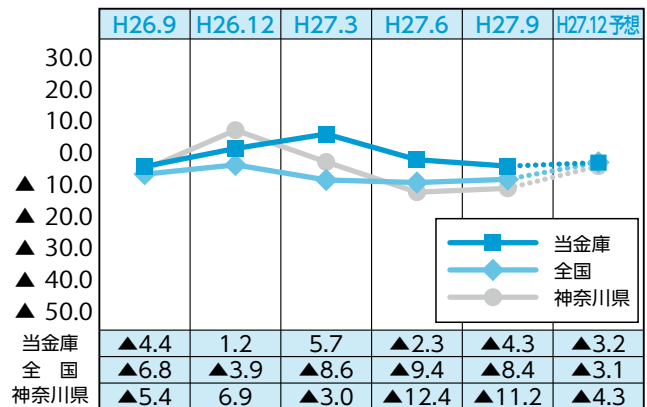
製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.0 ポイント悪化の▲4.3 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 13.2 ポイント改善の 9.8、収益 D.I. は 10.2 ポイント改善の 0.0 となっております。これは、原油価格の下落に伴う燃料コストの低下や一部に自動車関連の持ち直しの動きが見られ、売上額 D.I.、収益 D.I. の改善に寄与したものの、依然として、原材料高騰による仕入コスト上昇分の転嫁遅れや中国経済の減速で受注の減少が見られ、景況感は小幅悪化に至ったと思われます。また一部企業では、機械・設備の新增設や更改等の設備投資を検討しており、改善の動きが強まっていることが窺えます。

なお、全国は 1.0 ポイント改善の▲8.4 となっており、神奈川県は 1.2 ポイント改善の▲11.2 となっております。

来期の予想業況判断については、1.1 ポイント改善の▲3.2 となっております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	25.0	46.6	28.4	D.I. ▲3.4
当期実績	32.6	44.6	22.8	9.8
来期予想	28.2	58.8	13.0	15.2
前年同期比	31.5	39.2	29.3	2.2

販売価格

前期実績	4.5	92.1	3.4	D.I. 1.1
当期実績	6.5	89.2	4.3	2.2
来期予想	8.6	90.4	1.0	7.6

在庫

前期実績	5.6	92.2	2.2	D.I. 3.4
当期実績	7.6	91.4	1.0	6.6
来期予想	5.4	93.6	1.0	4.4

人手

前期実績	12.5	67.1	20.4	D.I. ▲7.9
当期実績	16.4	61.7	21.9	▲5.5
来期予想	13.3	64.5	22.2	▲8.9

収益

前期実績	20.4	49.0	30.6	D.I. ▲10.2
当期実績	22.8	54.4	22.8	0.0
来期予想	21.7	63.1	15.2	6.5
前年同期比	23.9	45.7	30.4	▲6.5

原材料価格

前期実績	23.8	75.1	1.1	D.I. 22.7
当期実績	25.0	72.9	2.1	22.9
来期予想	14.1	83.8	2.1	12.0

資金繰り

前期実績	13.6	66.0	20.4	D.I. ▲6.8
当期実績	17.3	63.2	19.5	▲2.2
来期予想	17.3	71.9	10.8	6.5

設備状況

前期実績	4.5	70.3	25.2	D.I. ▲20.7
当期実績	5.4	72.9	21.7	▲16.3
来期予想	5.4	74.0	20.6	▲15.2

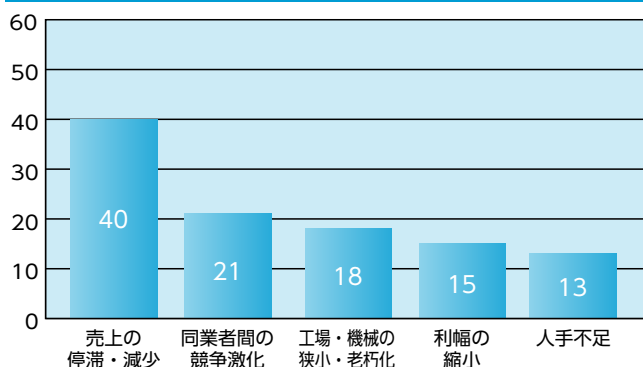
当期実績…27年 7～ 9月期
来期予想…27年10～12月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

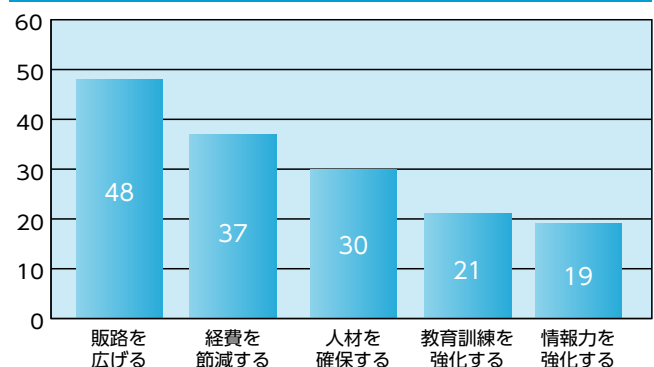
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

概況

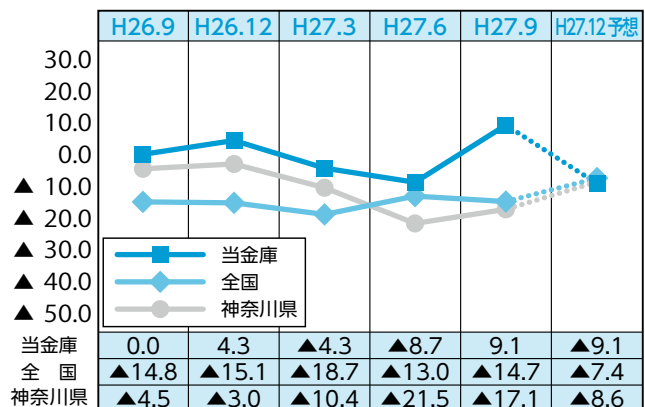
卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 17.8 ポイント改善の 9.1 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 21.9 ポイント改善の 4.5、収益 D.I. は 17.4 ポイント改善の 0.0、資金繰り D.I. は 4.4 ポイント改善の 0.0、仕入価格 D.I. は 12 ポイント下落の 22.8 となっております。建設業の好調を背景に建設材料卸売業を中心に回復を見せたが、依然として、円安に伴う原材料高騰により、仕入価格は高止まりする一方で、一部企業では、販売価格の値上げを実施するなど、短期的には業況改善の動きを見せるが、長期的には利幅の縮小等の影響により厳しい経営環境が予想されます。

なお、全国は 1.7 ポイント悪化の ▲14.7 となっており、神奈川県は 4.4 ポイント改善の ▲17.1 となっております。

来期の予想業況判断については、18.2 ポイント悪化の ▲9.1 となっております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	17.3	48.0	34.7	D.I. ▲17.4
当期実績	27.2	50.1	22.7	4.5
来期予想	18.1	59.2	22.7	▲4.6
前年同期比	31.8	41.0	27.2	4.6

販売価格

前期実績	21.7	74.0	4.3	D.I. 17.4
当期実績	22.7	63.7	13.6	9.1
来期予想	18.1	72.9	9.0	9.1

在庫

前期実績	13.0	82.7	4.3	D.I. 8.7
当期実績	13.6	86.4		13.6
来期予想	18.1	81.9		18.1

人手

前期実績	4.3	78.4	17.3	D.I. ▲13.0
当期実績	13.6	59.2	27.2	▲13.6
来期予想		72.8	27.2	▲27.2

収益

前期実績	13.0	56.6	30.4	D.I. ▲17.4
当期実績	22.7	54.6	22.7	0.0
来期予想	4.5	77.4	18.1	▲13.6
前年同期比	36.3	45.6	18.1	18.2

仕入価格

前期実績	39.1	56.6	4.3	D.I. 34.8
当期実績	31.8	59.2	9.0	22.8
来期予想	27.2	68.3	4.5	22.7

資金繰り

前期実績	8.6	78.4	13.0	D.I. ▲4.4
当期実績	18.1	63.8	18.1	0.0
来期予想	13.6	59.2	27.2	▲13.6

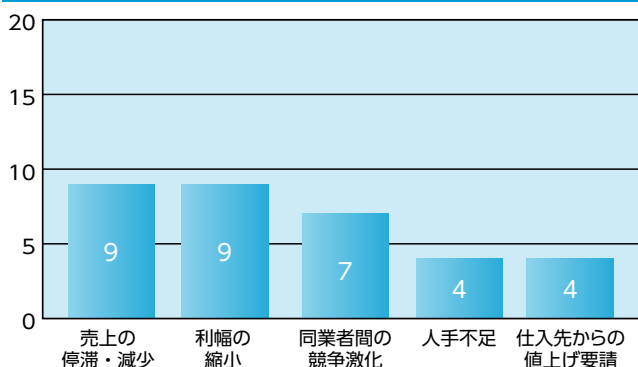
設備状況

前期実績	81.9	18.1	D.I. ▲18.1
当期実績	81.0	19.0	▲19.0
来期予想	75.0	25.0	▲25.0

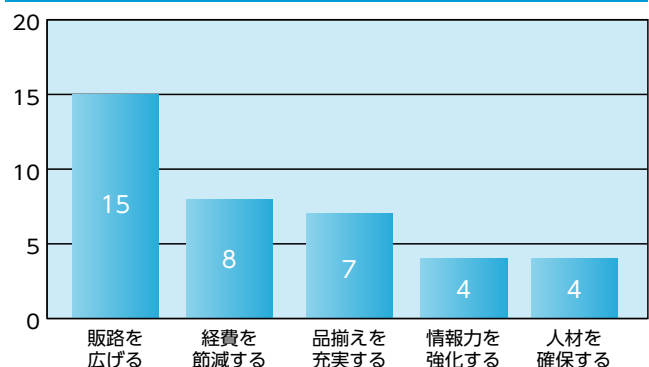
当期実績…27年 7～ 9月期
来期予想…27年10～12月期

良い、増加、上昇、過剰、楽
 普通、変わらず、適正
 悪い、減少、下降、不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

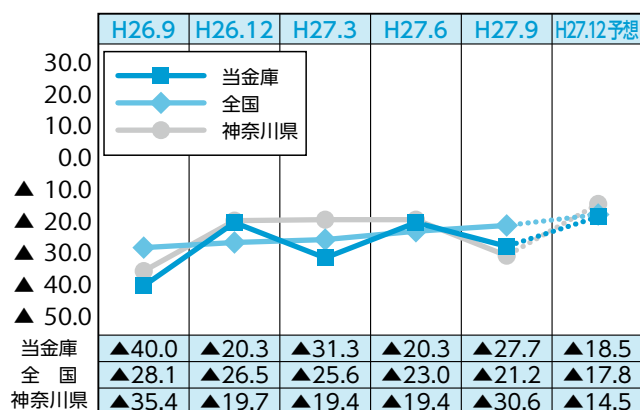
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査から 7.4 ポイント悪化の▲27.7 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 4.5 ポイント悪化の▲15.3、収益 D.I. は 12.3 ポイント悪化の▲27.7、資金繰り D.I. は 10.8 ポイント悪化の▲38.5 となっております。一部企業では、猛暑の影響により飲料品関連など季節商品が好調であったものの、総体的には売上額 D.I. は改善せず、依然として実質賃金の伸び悩みに伴う消費マインドの低下による影響が続いております。

なお、全国は 1.8 ポイント改善の▲21.2、神奈川県は 11.2 ポイント悪化の▲30.6 となっております。

来期の予想業況判断については、9.2 ポイント改善の▲18.5 となっております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	26.1	37.0	36.9	D.I. ▲10.8
当期実績	20.0	44.7	35.3	▲15.3
来期予想	24.6	47.8	27.6	▲3.0
前年同期比	26.1	33.9	40.0	▲13.9

販売価格

前期実績	18.4	74.0	7.6	D.I. 10.8
当期実績	12.3	80.1	7.6	4.7
来期予想	7.6	89.4	3.0	4.6

在庫

前期実績	15.3	80.1	4.6	D.I. 10.7
当期実績	21.5	70.9	7.6	13.9
来期予想	18.4	72.4	9.2	9.2

人手

前期実績	9.5	49.3	41.2	D.I. ▲31.7
当期実績	6.1	58.6	35.3	▲29.2
来期予想	4.7	58.8	36.5	▲31.8

収益

前期実績	18.4	47.8	33.8	D.I. ▲15.4
当期実績	10.7	50.9	38.4	▲27.7
来期予想	18.4	50.9	30.7	▲12.3
前年同期比	15.3	44.7	40.0	▲24.7

仕入価格

前期実績	47.6	47.8	4.6	D.I. 43.0
当期実績	40.0	55.4	4.6	35.4
来期予想	33.8	63.2	3.0	30.8

資金繰り

前期実績	6.1	60.1	33.8	D.I. ▲27.7
当期実績	7.6	46.3	46.1	▲38.5
来期予想	7.6	52.4	40.0	▲32.4

設備状況

前期実績	1.5	82.9	15.6	D.I. ▲14.1
当期実績	3.0	87.8	9.2	▲6.2
来期予想	1.6	87.0	11.4	▲9.8

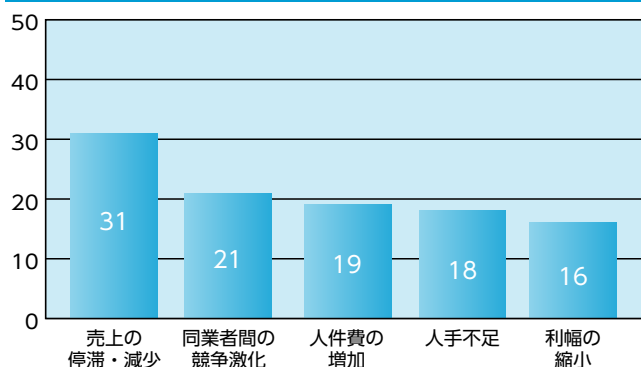
当期実績…27年 7～ 9月期
来期予想…27年10～12月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

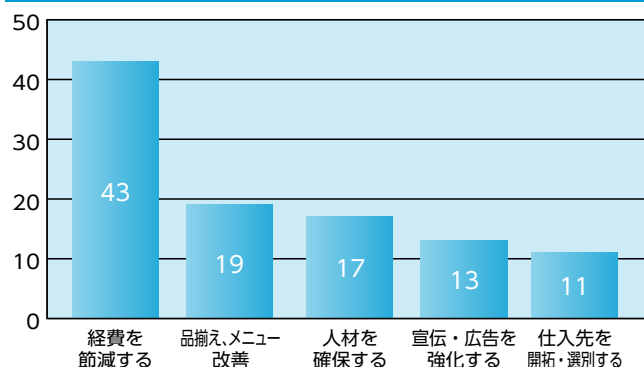
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

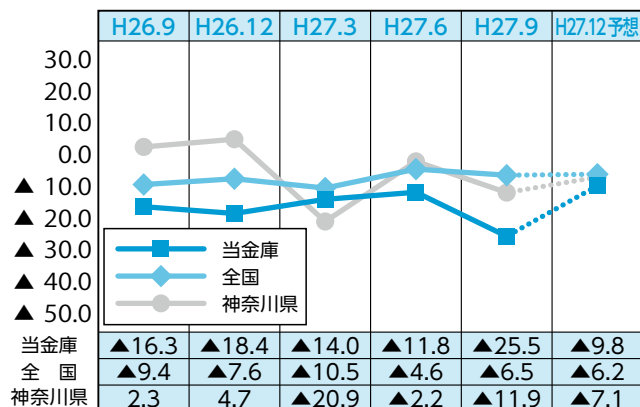
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 13.7 ポイント悪化の▲25.5 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 31.4 ポイント悪化の▲13.7、収益 D.I. は 3.9 ポイント悪化の▲3.9 となっております。宿泊業等でホームページのリニューアルによる販売促進の効果が見受けられますが、サービス業の約 6 割の企業が依然として経営上の問題に、売上の停滞・減少、人手不足をあげており厳しい状況が続いております。

なお、全国は 1.9 ポイント悪化の▲6.5 となっており、神奈川県は 9.7 ポイント悪化の▲11.9 となっております。

来期の予想業況判断については、15.7 ポイント改善の▲9.8 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	43.1	31.5	25.4	D.I. 17.7
当期実績	21.5	43.3	35.2	▲13.7
来期予想	27.4	55.0	17.6	9.8
前年同期比	27.4	41.3	31.3	▲3.9

料金価格

前期実績	5.8	88.4	5.8	D.I. 0.0
当期実績	1.9	88.3	9.8	▲7.9
来期予想		90.2	9.8	▲9.8

資金繰り

前期実績	3.9	68.7	27.4	D.I. ▲23.5
当期実績	1.9	60.9	37.2	▲35.3
来期予想	3.9	66.7	29.4	▲25.5

設備状況

前期実績	5.8	72.7	21.5	D.I. ▲15.7
当期実績	2.0	78.0	20.0	▲18.0
来期予想	2.0	70.0	28.0	▲26.0

収益

前期実績	29.4	41.2	29.4	D.I. 0.0
当期実績	21.5	53.1	25.4	▲3.9
来期予想	23.5	60.9	15.6	7.9
前年同期比	23.5	45.2	31.3	▲7.8

材料価格

前期実績	21.5	74.6	3.9	D.I. 17.6
当期実績	19.6	70.6	9.8	9.8
来期予想	19.6	76.5	3.9	15.7

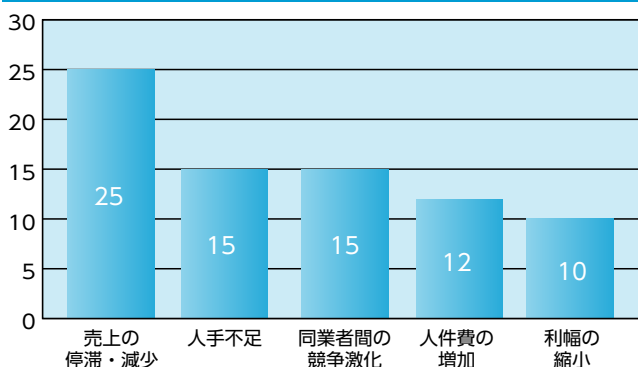
人手

前期実績	7.8	58.9	33.3	D.I. ▲25.5
当期実績	17.6	51.1	31.3	▲13.7
来期予想	11.7	55.0	33.3	▲21.6

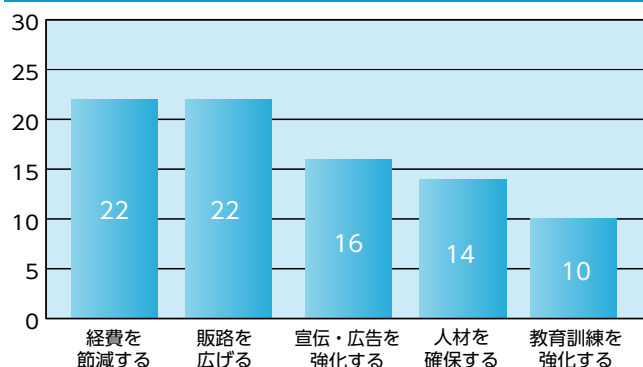
当期実績…27年 7～ 9月期
来期予想…27年10～12月期

良い、増加、上昇
 普通、変わらず
 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

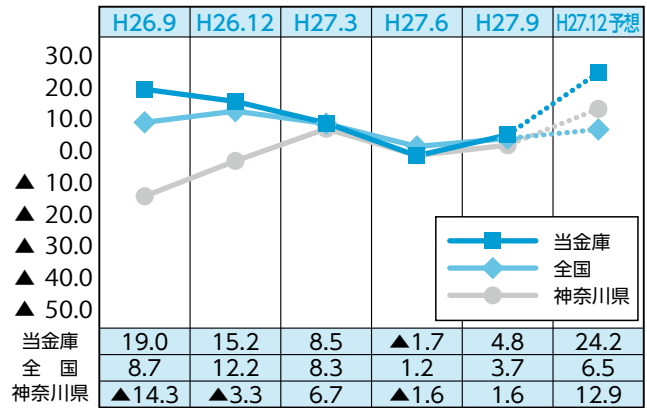
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 6.5 ポイント改善の 4.8 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 23.2 ポイント改善の 6.5、収益 D.I. は 16.8 ポイント改善の▲3.2 となっております。これは、公共事業の発注体制が整ったことによる受注増加に加え、リフォームを中心とした住宅関連が持ち直しを見せたことが、売上額 D.I. に寄与し、改善に繋がったと思われます。しかし、全業種の中で人手不足の度合いが最も深刻であり、業況改善に向けての動きを弱めていると思われます。

なお、全国は 2.5 ポイント改善の 3.7 となっており、神奈川県は 3.2 ポイント改善の 1.6 となっております。

来期の予想業況判断については、19.4 ポイント改善の 24.2 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	16.6	50.1	33.3	D.I. ▲16.7
当期実績	29.0	48.5	22.5	6.5
来期予想	37.7	49.2	13.1	24.6
前年同期比	32.2	37.2	30.6	1.6

請負価格

前期実績	8.3	78.4	13.3	D.I. ▲5.0
当期実績	6.4	82.4	11.2	▲4.8
来期予想	9.8	78.8	11.4	▲1.6

在庫

前期実績	3.3	95.1	1.6	D.I. 1.7
当期実績	3.2	93.6	3.2	0.0
来期予想	5.0	93.4	1.6	3.4

人手

前期実績	6.6	61.8	31.6	D.I. ▲25.0
当期実績	4.8	61.4	33.8	▲29.0
来期予想	3.2	49.3	47.5	▲44.3

収益

前期実績	13.3	53.4	33.3	D.I. ▲20.0
当期実績	20.9	55.0	24.1	▲3.2
来期予想	27.8	55.9	16.3	11.5
前年同期比	20.9	46.9	32.2	▲11.3

材料価格

前期実績	31.6	68.4		D.I. 31.6
当期実績	35.4	64.6		35.4
来期予想	26.2	73.8		26.2

資金繰り

前期実績	11.6	70.1	18.3	D.I. ▲6.7
当期実績	11.2	64.7	24.1	▲12.9
来期予想	11.4	67.3	21.3	▲9.9

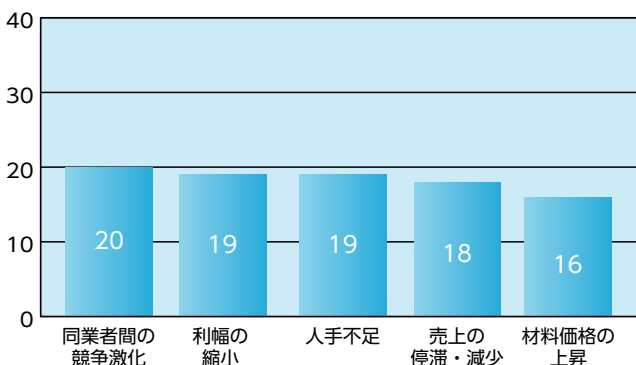
設備状況

前期実績	3.3	91.7	5.0	D.I. ▲1.7
当期実績		98.4	1.6	▲1.6
来期予想		93.5	6.5	▲6.5

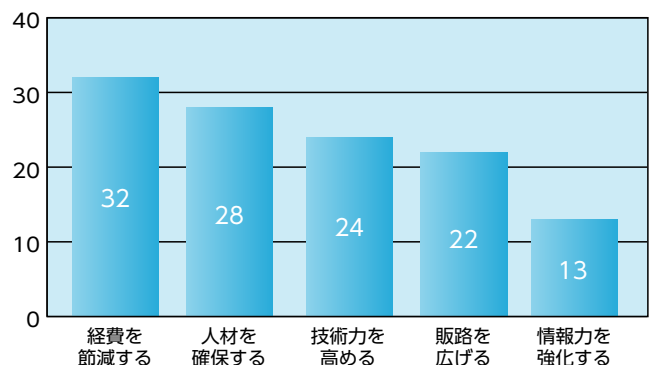
当期実績…27年 7～ 9月期
来期予想…27年 10～ 12月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 18.1 ポイント悪化の▲23.1 となりました。

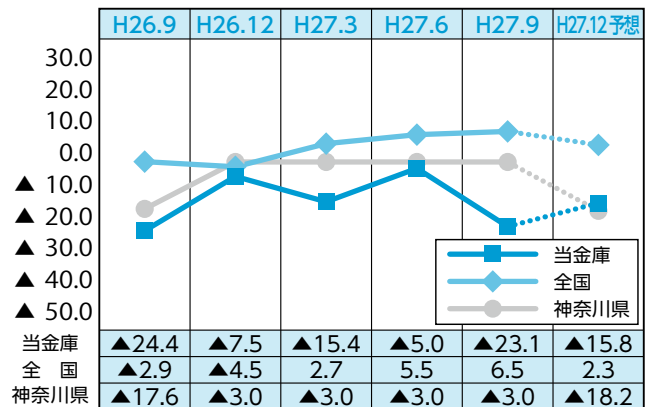
項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 13 ポイント悪化の▲18.0、収益 D.I. は 0.2 ポイント悪化の▲7.7 となっております。

依然として、秦野・伊勢原エリアでの不動産取引の動きが鈍く、売上に影響が出ている企業も見受けられますが、一方では県央や湘南エリアは、活発な動きを見せ、一部企業ではこのエリアに事業展開を目論んでいる動きが見受けられます。また、物件の不足・高騰を懸念すると回答した企業が約 4 割にも及び、情報収集の強化が課題となっております。

なお、全国は 1.0 ポイント改善の 6.5 となっており、神奈川県は横ばいの▲3.0 となっております。

来期の予想業況判断については、7.3 ポイント改善の▲15.8 となっております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	17.5	60.0	22.5	D.I. ▲5.0
当期実績	23.0	36.0	41.0	▲18.0
来期予想	12.8	61.6	25.6	▲12.8
前年同期比	17.9	36.0	46.1	▲28.2

販売価格

前期実績	5.0	67.5	27.5	D.I. ▲22.5
当期実績	2.5	59.1	38.4	▲35.9
来期予想	2.5	56.5	41.0	▲38.5

在庫

前期実績	12.5	62.5	25.0	D.I. ▲12.5
当期実績	10.2	74.5	15.3	▲5.1
来期予想	7.6	66.8	25.6	▲18.0

人手

前期実績	2.5	92.5	5.0	D.I. ▲2.5
当期実績	89.8	10.2		▲10.2
来期予想	89.8	10.2		▲10.2

収益

前期実績	15.0	62.5	22.5	D.I. ▲7.5
当期実績	23.0	46.3	30.7	▲7.7
来期予想	12.8	59.0	28.2	▲15.4
前年同期比	17.9	41.1	41.0	▲23.1

仕入価格

前期実績	10.0	70.0	20.0	D.I. ▲10.0
当期実績	12.8	74.4	12.8	0.0
来期予想	10.2	74.5	15.3	▲5.1

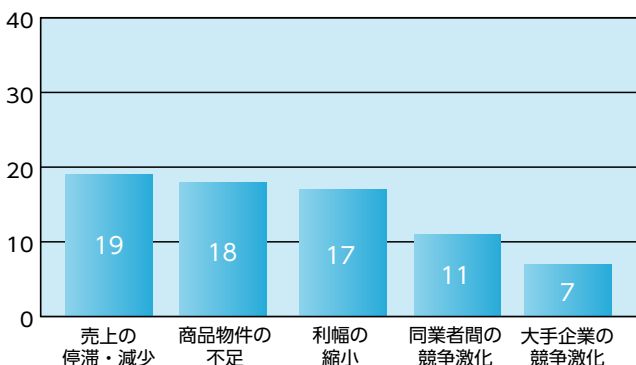
資金繰り

前期実績	12.5	72.5	15.0	D.I. ▲2.5
当期実績	7.6	82.2	10.2	▲2.6
来期予想	10.2	82.2	7.6	2.6

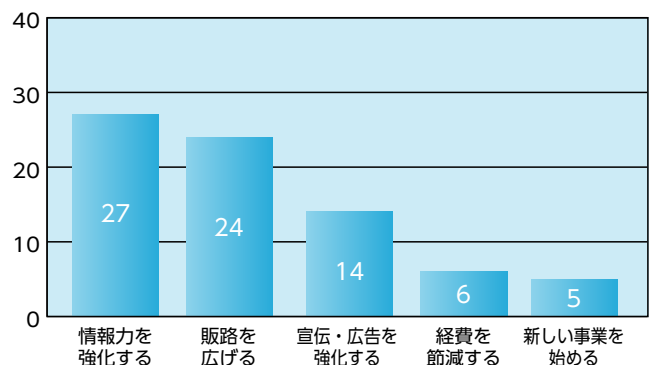
当期実績…27年 7～ 9月期
来期予想…27年10～12月期

良い、増加、上昇、過剰、楽
 普通、変わらず、適正
 悪い、減少、下降、不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



特別調査 中小企業が地域金融機関に望むこと

当金庫のお客様 338 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問 1. 貴社の社長（代表者）の年齢について、1 つお答えください。
また、貴社の業歴について、1 つお答えください。

社長（代表者）の年齢

○ 20 歳代、30 歳代	22 社
○ 40 歳代	84 社
○ 50 歳代	71 社
○ 60 歳代	93 社
○ 70 歳代以上	58 社

貴社の業歴

○ 10 年未満	28 社
○ 10 年以上～ 20 年未満	56 社
○ 20 年以上～ 30 年未満	59 社
○ 30 年以上～ 40 年未満	73 社
○ 40 年以上	105 社

問 2. 貴社におけるメインバンクについて、1 つお答えください。
また、メインバンクとの取引期間について、1 つお答えください。

メインバンク

○ 当金庫	216 社
○ 他の信用金庫	21 社
○ 都市銀行	40 社
○ 地銀・第二地銀	40 社
○ 信組・農協・その他	5 社
○ 政府系金融機関	4 社

取引期間

○ 5 年未満	24 社
○ 5 年以上～ 10 年未満	35 社
○ 10 年以上～ 20 年未満	84 社
○ 20 年以上	182 社

問 3. 地域金融機関の体制面で望むことについて、3 つ以内でお答えください。

1 位 要望に対する迅速な対応	168 社	6 位 担当者の訪問回数の増加	26 社
2 位 担当者の頻繁な人事異動がないこと	144 社	7 位 支店窓口での相談機能の強化	20 社
3 位 担当者交代時の丁寧な引継ぎ	85 社	8 位 インターネットバンキング等の非対面チャネル充実	15 社
4 位 金融機関の本部専担者・外部専門家による支援	49 社	9 位 その他	7 社
5 位 特に期待していない	33 社	10 位 担当者訪問時の滞在時間の延長	2 社

問 4. 地域金融機関にどのような金融取引以外の支援サービスを期待しますか。3 つ以内でお答えください。

1 位 補助金、助成金の紹介・相談	133 社	6 位 事業承継、M&A 支援等	32 社
2 位 ビジネスマッチング等販路拡大支援	102 社	7 位 その他経営に関する情報提供	20 社
3 位 事業計画、経営戦略の策定支援	87 社	8 位 研究開発のための専門機関紹介	10 社
4 位 財務診断アドバイス	69 社	9 位 海外展開支援	6 社
5 位 特に期待していない	47 社	10 位 その他	4 社

問 5. 当金庫による貴社への訪問頻度に関し、次の中から 1 つお答えください。
また、その他の主な取引金融機関による訪問頻度に関し、次の中から 1 つお答えください。

当金庫の訪問頻度

○ 多すぎる	4 社
○ 満足している	327 社
○ 少なすぎる	12 社

その他の主な取引金融機関の訪問頻度

○ 多すぎる	2 社
○ 満足している	164 社
○ 少なすぎる	63 社
○ 当金庫以外取引なし	78 社

経営のポイント! 『自社の決算書を見直そう! ②』

前回に引続き、今回は損益計算書の売上総利益について見ていきましょう。

【売上総利益】

売上総利益とは、売上高 (A) から売上原価 (B) を差し引くことで求められます。

一般的には「粗利」と呼ばれている利益であり、その会社の商品（製品）力や付加価値を示すとも言われております。また、売上総利益“額”を増やすことも重要ですが、売上総利益“率”にも注視していきましょう。

「貴社の売上総利益率は何パーセントですか?」「最近のトレンドは上昇傾向ですか? 下降傾向でしょうか?」これらを把握することは、経営をしていくうえで重要なポイントになります。各業種によって売上原価を下げる方法は大きく異なりますので、詳しく知りたい方はお気軽に中栄信用金庫にご相談ください。

損益計算書	
自 平成〇〇年〇月〇日	
至 平成〇〇年〇月〇日	
売上高 (A)	〇〇〇
売上原価 (B)	〇〇〇
売上総利益	〇〇〇
販売費および一般管理費	〇〇〇
営業利益	〇〇〇
営業外収益	
受取利息	〇〇〇
営業外費用	
支払利息	〇〇〇
経常利益	〇〇〇
特別利益	
固定資産売却益	〇〇〇
特別損失	
固定資産売却損	〇〇〇
税引前当期純利益	〇〇〇
法人税および事業税	〇〇〇
当期純利益	〇〇〇

(次号につづく)